

クラフトリンク活動指針

1. 改訂の趣旨

シャプラニールの手工芸品販売活動は1974年に始まり、経済的に厳しい状況におかれている生産者の生活向上を目指してきた。より効果的な活動を実施するため、2000年度から開始した現地調査の結果を踏まえ、2003年にクラフトリンクという活動の名称および活動の基本指針を策定した。以来、この指針に基づいて活動を進めてきたが、策定後5年を経た今、パートナーシップに対する意識の変化や取扱商品の多様化に対応するため、改訂を行うこととした。その主旨は以下の通りである。

- ① 手工芸品団体との関係性
手工芸品との関係の再評価時期について述べられている部分があるが、これは、手工芸品団体がシャプラニールから卒業するというイメージを持って書かれたものである。しかしながら、継続的な雇用の創出およびそれによる生産者の生活向上を目指すとするならば、手工芸品団体がここに書かれている通り十分な販路拡大の能力を持っていたとしても、シャプラニールが関係を中断する必要はなく、より多くの生産者に対する安定した仕事作りを目指すべきではないかと考えた。その他にも、現地手工芸品団体をパートナーとし、公正・公平かつ継続的な関係性を築くことの重要性を強調する修正をした。
- ② ここ数年、クラフトリンクは生産者の生活向上を目指した海外協力活動の一環であるという位置付けを明確にしてきた中で、現地手工芸品団体をパートナー団体と呼ぶようになってきている。指針においても同様に呼称を変更しようと考えた。
- ③ 本文の数カ所取扱商品を手工芸品のみに限定する記述があるが、食品等の取扱も可能な表現に変更した。

2. 活動目的

シャプラニールは定款の第3条において活動目的を次のように定めている。

「この会は、市民の自発的参加と責任に基づき、南北問題に象徴される現代社会の様々な問題の解決のために必要な海外協力等の諸活動を行い、すべての人が持つ豊かな可能性が開花する社会の実現を目指す」。

この目的の中において、クラフトリンク活動は問題解決の一つの方法であり、かつ国内において市民が自発的に海外協力に参加する機会でもある。こうした認識に基づき、シャプラニールはクラフトリンク活動を通じて、南アジアの経済的、社会的に厳しい状況にある人たちの雇用創出に貢献し、生活向上を実現することを目的としている。その活動は、シャプラニールと目的を共有する現地団体をパートナーとして実施し、そのパートナー団体との公平・公正・継続的な関係を構築することを目指す。また、パートナー団体の能力向上のための取組も積極的に行う。

また、多くの市民による手工芸品等の販売・購入を通じて、南北問題に象徴される現代社会の様々な問題に人々が気付き、あらゆる社会の人間一人一人が繋がりを、文化や宗教、人種などの多様性を認めあう暮らしを提案する。さらには、この活動への市民の自発的参加のひろがりにより、搾取や差別のない、真の意味で『共生』できる社会の実現を目指す。

「クラフトリンク」という名称には、クラフト(手工芸品)の生産・販売活動を通じて作り手や使う人、活動に関わる人々がつながり、よりよい社会を築いていきたいという想いが込められている。

3. 活動指針

(1)活動の3つの柱

1) 南アジアにおける、経済的・社会的に厳しい状況にある生産者たちの雇用創出や生活向上の実現

- ・ 貧困や社会的な制約のために、生活するに十分な収入を得られない人たちにとって、雇用の機会は大変重要である。身近な素材や伝統的な技術を使った手工芸品、あるいは安定した収入を得られるような製品を生産することによって、生活の向上が可能となるよう、シャプラニールは継続的な発注を心掛ける。また、生産者が手工芸品等の生産を通じて、自信を得たり、やりがいを感じるなどの精神的

変化を得ることも重要と考える。生産者については、より厳しい状況にある人たちへの配慮をする。

2) パートナー団体との公平・公正・継続的な関係の構築

- ・ パートナー団体との公平・公正かつ継続的な関係性を築き、生産者の生活向上という共通の目的を達成するため共に活動を進める。
- ・ シャプラニールとの関係のみに留まらず、パートナー団体がより幅広い活動を実現するための能力向上の取組にも積極的に協力する。ただし、過度な支援により依存心を生み出すことのないよう留意する。
- ・ 常に透明性のある活動を心掛け、シャプラニールとパートナー団体間の情報共有、および市民に向けた積極的な情報開示を進める。

3) 日本をはじめとする市民の自発的参加のひろがりによる、搾取や差別のない真の意味で『共生』できる社会の実現

- ・ 南北問題の解決には、日本をはじめとする市民がその問題に気付き、一人一人が繋がり、多様性を認め合い、行動することが重要である。シャプラニールは、生産地の文化紹介や生産者の状況を伝え、差別や搾取の無い社会を提案し、その社会の実現のためにクラフトリンク活動に参加することを呼びかける。

(2)活動の原則

1) 生産者への徹底した配慮

生産者とは以下の項目のいずれかに該当する

- ・ 経済的に苦しい状況にある人、少数民族、低カーストの人、離婚した女性、寡婦などの社会的弱者、地理的条件等により就業機会に恵まれない人

この活動をつうじて生産者が得るもの

- ・ 収入の向上を通じた生活状況の改善
- ・ 自信ややりがいなどの精神的変化を得、自分が本来持っている力に気付き発揮できるようになる。また、それによって家族の中での役割やコミュニティの中での人間関係がより豊かなものに変化する

シャプラニールが生産者に対して配慮すること

- ・ 文化的な規範や季節、祭事等、生産者それぞれの地域の状況にふさわしい対応と、その文化・伝統・技術の尊重
- ・ 生産者の状況について、直接の対話をとおして把握するようつとめる
- ・ 生産者の雇用創出と継続的な就労機会の提供

活動地

- ・ 生産者やパートナー団体の状況を詳しく把握するために、基本的には駐在員が派遣されている国での活動とする。ただし、何らかの方法で生産者の状況をはじめ、活動現場の状況が詳しく把握できるのであれば、その他の地域での活動も可能とする

2) パートナー団体とともに歩む

目的を共有する団体をパートナーとし、一方的な押し付けにならないよう、対等な対話に基づいた活動を常に心掛ける。パートナー団体の選定にあたっては、組織規模の大小にはこだわらず、販路の拡大や商品開発等に関しても必要に応じて共に取り組む。

パートナー団体の定義（以下の項目のいずれかに該当する団体）

- ・ シャプラニールが生産者として定義している人を採用している団体

- ・最低賃金の設定、仕事の公平な分配、労働環境の整備、利益の再分配、貯蓄の奨励など生活向上プログラムの実施等、生産者の立場に立って運営を考えている団体
- ・会計の透明性があり、賃金の支払をきちんと行っている団体
- ・伝統的な技や美術が活かされた、品質の高い魅力的な手工芸品を作ろうとする意欲がある団体
- ・伝統文化の維持や紹介に貢献している団体

シャプラニールがパートナー団体と共同で生産者に対し配慮すること

- ・生産者の生活サイクルを配慮した発注
- ・労働時間・衛生状況・賃金など、生産者の労働環境

パートナー団体の成長を目指したシャプラニールの活動

- ・販売の状況や団体運営の現状等について共同で認識するために対話を行う。パートナー団体の情報を求めるだけでなく、シャプラニールの日本国内における活動、販売状況等についても積極的に公開する。
- ・日本の生活文化、市場情報やシャプラニールの販売状況、顧客の声を定期的にパートナー団体へ知らせ、日本の顧客のニーズを捉えた商品開発に役立ててもらおう。

運営に関する視点

- ・シャプラニールは生産者が生産活動のなかで労働環境に対して意見が言えるような参加の場の設定を配慮するようパートナー団体に提案する。また、シャプラニールは会計報告をパートナー団体から毎年受取り、定期的に確認を行う。運営上の問題点が見られる場合には改善の働きかけを行う。
- ・上記パートナー団体の定義に当てはまらなくなった場合、また改善の働きかけによっても変化が見られないなど、パートナーとしての活動の継続が難しいと判断される場合には、パートナーシップの解消を検討する。

3) 『共生』できる社会の実現をめざして

何を販売するのか

- ・機械に頼らず手でつくられているもの
- ・伝統的に受け継がれてきた、美術・技術を活かしたもの
- ・生産現場で手に入れることができる素材を活かしたもの
- ・商品を手にとった時、買い手が生産者の技術と努力を尊敬でき、作り手の顔が見えるようなもの
- ・生産者、購買者の体に害のないもの

何を伝え、提案するのか

- ・生産者が置かれている環境や生活状況
- ・文化、芸術、技術
- ・搾取や差別のない社会の提案
- ・南北問題への気付きと、異なる文化、慣習を越えて一人一人が繋がり、多様な価値観を認め合うことの大切さ
- ・シャプラニールの活動

搾取や差別のない社会の実現に向けて

- ・個人、企業、地域社会、国など様々なレベルで、日本をはじめとする市民が南北問題へ気付き、人々が繋がり、多様性を認め合えるような提案を行なう
- ・市民の自発的参加による販売・広報活動への協力を得る
販売協力例：
 - 常設販売店による継続的な販売活動および活動の広報
 - 市民による地域でのイベント等における販売および活動の広報
- ・多くの市民による商品購入を通じたクラフトリング活動への参加を促す
- ・多くの市民に対し、透明性の高い情報の公開を積極的に行う

以上